

質 問 回 答

2021年10月5日

「(案件名 21a00650 カリブ地域海洋プラスチックごみ対策アドバイザー業務)  
(公示日：2021年9月22日／公示番号：21a00650) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	11 頁「…、現地調査開始前に実施できる国内業務について提案があればプロポーザルに追加で記載してください。…」	最長どのくらいの期間を想定されていますでしょうか。あまり期間が長すぎますと、業務全体の変更が必要になるだろうとの観点でのご質問です。	最長で3カ月間を想定しています。26 頁に示す公開資料「北米・中南米地域（広域）カリブ地域海洋プラスチックごみ問題情報収集・確認調査」は国内業務を主体に実施されていることから、本業務では同調査の結果を踏まえた現地活動を優先し現地調査開始前の国内業務はこの補完及び現地渡航に向けた調整に充てることを想定しています。
2	20 頁(5)パイロット事業「最大2か国を対象にパイロット事業を実施する」 22 頁～23 頁「想定されるパイロット事業案を2つ提案すること。…1パイロット事業あたり20,000千円を上限、1年以内の事業期間という条件で検討…」	最大2か国に対して、2つのパイロット事業を提案するよう指示がありますが、その場合、1か国に対して2つのパイロット事業も考えられると理解致しましたが、それで良いでしょうか。	現時点では、1か国につき1つのパイロット事業を想定しております。 但し、業務開始後に現地調査を行った結果、1か国で2つのパイロット事業を実施することが有用と考えられる場合は受注者からその内容を提案し、幣機構と協議のうえ、その意義と必要性が確認できれば、実施することを認めます。

以 上